

平成 31 年 2 月 7 日（木）
山口市新本庁舎整備専門会議 資料

新本庁舎整備に関する「関係団体意見交換」 主な御意見

平成 31 年（2019 年）2 月

山口市

関係団体との意見交換の詳細

1. 調査方法及び期間

① 調査方法

関係団体と面談の上、意見交換を行いました（※は文書回答のみ。）。

② 調査対象団体

	分野	団体名
1	観光	一般財団法人 山口観光コンベンション協会
2	経済	山口市商店街連合会 ※
3		山口商工会議所
4	文化	山口文化協会
5		大内文化街道まちなみ協議会
6	環境	温暖化 とめるっちゃネットワークやまぐち (山口市地球温暖化対策地域協議会)
7		特定非営利活動法人 亀山公園を愛し育てる会
8	福祉	山口市社会福祉協議会
9		山口市老人クラブ連合会
10		山口市障害者団体連合会
11	子育て	認定特定非営利活動法人 こどもステーション山口
12		特定非営利活動法人 あっと
13	市民活動	認定特定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク
14	地域	おおどのコミュニティ協議会
15		白石地区地域づくり協議会
16		湯田地区コミュニティ運営協議会
17		山口市自治会連合会

③ 調査期間

平成 30 年（2018 年）10 月 3 日（水）～平成 30 年（2018 年）12 月 21 日（金）

2. 調査結果

いただいた御意見は、基本計画で導入する機能として列挙した、次の項目ごとに分類し、次のとおりまとめました。

(1) 市民が集う親しみをもてる庁舎

① 誰もが、わかりやすく、使いやすい庁舎

a 全体機能

(全体) ・ 市民にやさしい庁舎を目指してほしい。 ・ 開放感あふれる市役所にしてほしい。(廊下、トイレが薄暗い。狭く感じる。)
(ユニバーサルデザイン・バリアフリー) ・ 障がいのある方や妊産婦等に配慮された設備 ・ 多目的トイレの設置、出入口・通路のバリアフリー（広く） ・ エレベーター内・駐車場の整備（広く）、階段差の配慮（緩く） ・ 表示は大きく、目線の位置に ・ 点字ブロック、点字案内、多言語表示、視覚障がい者のための音声案内 ・ 小便器の手すりを各階（特に1階）に複数箇所設置 ・ 多目的トイレの水を流すレバーを高低複数箇所設置するなどの工夫をする。 ・ バリアフリーのことなどを決めるときは、障がい者の意見を聞いてほしい。 ・ 段差の解消 ・ いろいろなパターンに対応できる車いすトイレの設置（左右からの移乗）や大人のおむつ替え台の設置 ・ バリアフリー化 ・ バリアフリーは大事。(エレベーターも増やしてほしい。) エスカレーターもあるとよいかも。 ・ 円滑に移動できる動線の確保も大事
(子育て世代への配慮) ・ 授乳室の設置（足で扉の開閉ができるフットスイッチの導入）、キッズコーナーの設置 ・ ロビーのテレビは、子ども向け番組を流すものと、それ以外に区分をして複数配置してほしい。 ・ こども子育ての関係部署の近くにキッズスペース、赤ちゃんの駅がほしい。 ・ Y C A Mのような託児スペースを備えられないか。 ・ 子どもが待てるキッズスペースがほしい。(Y C A Mのキッズスペースのイメージ。) ・ 記載台の近くに子どもを寝せられるような、ベビーシート（ベッド）があるとよい。 ・ トイレは洋式にしてほしい。また、子ども便座を数箇所置いてほしい。子ども用の低い洗面台もあるとよい。 ・ 女子トイレに男の子用の小便器を置いてほしい。 ・ トイレの個室はベビーカーで入れるよう、ゆったり広めにしてほしい。 ・ ベビーカーの貸し出しがあるとよい。 ・ 乳幼児のパウダールーム ・ 現本庁舎は廊下が暗く、小さな子どもにとっては怖い。明るい庁舎にしてほしい。
(アクセス) ・ 敷地内または隣接するバス停留所の設置 ・ 市役所玄関に近いところに屋根つきのバス停留所を設置 ・ 市民が行きやすい市役所にしてほしい。 ・ 行きやすい環境（市庁舎入口への道路整備） ・ 市役所への入り口の動線（アプローチ）の改善をしてほしい。

b 案内機能

- ・ 出入口がわかりやすい、内部の配置がわかりやすいようにしてもらいたい。
- ・ 庁内案内の機械があるといい。
- ・ サインは外国人にも分かる内容にしてほしい。
- ・ 課の案内が分かりにくいので、分かりやすくデジタル化してほしい。
- ・ サイン（案内）をわかりやすくしてほしい。（どこに行ってもよい迷う。）
- ・ 目的地までの動線が分かりやすく、スムーズに移動できる配慮（カラーラインなど）

c 窓口機能

- ・ 総合案内窓口、総合相談窓口（職員が移動するワンストップ窓口）
- ・ 分散した組織は、一つにまとめたほうが便利である。
- ・ 手続きが一括で済ませられるような仕組みにしてほしい。
- ・ お悔やみコーナー、子育てコーナー、一人親コーナーのような、総合的なアドバイスをもらえるような窓口がほしい。
- ・ 山口総合支所の機能（窓口機能）は、なるべくワンフロア・ワンストップで手続きができるような構成にしてほしい。
- ・ 1階に窓口機能を集めてほしい。
- ・ 行政窓口が地域交流センター等で代行できる時代ではあるが、行政窓口機能がさらに充実される仕組みと対応が望まれる。
- ・ 市民にとってのワンストップ機能
- ・ 将来を見据えた、ロボットも使える庁舎にすること。
- ・ 早間田の空きビルが多い。再開発できないか。パークロードを南側に延ばすのもよいのではないか。また、空きビルを利用して、市の証明発行など窓口を外に分散することもよいのではないかと。
- ・ 市役所組織の横のつながりも大事である。
- ・ コンシェルジュがいるといい。
- ・ 総合病院に行ったら、フロアマネージャーがよく機能していたように思う。
- ・ 高齢者と子どもに関する部署は、まとめて1階に配置を希望

d 駐車場・駐輪場

（身障者用駐車場）

- ・ 身障者用駐車場の十分な確保
- ・ 身障者用の駐車スペースが足りないのもっと増やしてほしい。
- ・ パーキングパーミットの利用箇所（障がい者用駐車場）の増設（10台程度）。標識のある車に限るとのしっかりした表示をする。

（余裕を持った駐車スペース・車路の確保）

- ・ 駐車場の各区分が狭く駐車しにくいので、十分なスペースを確保してほしい。

（アクセス）

- ・ 駐車場から庁舎へは滞れずに移動できるよう配慮してほしい。
- ・ 駐車場の出入口をそれぞれ別にするなどし、複数系統の動線があるとよい。
- ・ 現在地は市庁舎に入る道がいびつな形になっているが、この際ここらも含んだ導線整理が望まれる。車に限らず歩行者にも優しい動線も同じ。又、交通弱者のための公共交通のバス停の配置も検討の価値があろう。

（十分な駐車台数の確保）

- ・ 駐車場がいっぱいで、とめられないことがあり、駐車区画も狭い。（繁忙期を避けて市役所に行くようにしている。）十分な駐車場の確保をしてほしい。
- ・ 庁舎に必要な駐車場とは別の市民のための駐車場
- ・ 駐車場計画についてであるが、市民会館の運営にも支障をきたさない駐車計画が大切
- ・ いずれ消防署の移転なども視野に入れた亀山公園、或いは新亀山公園と一体化したエリアでの駐車場の全体整備計画は検討頂きたい。

(その他)

- ・ 1 時間無料パーキング
- ・ 建て替え中、山口市民会館での催しがある場合は、駐車場をしっかりと確保してほしい。
- ・ 駐車場は無人ゲートにしてもよいのではないか。(無断駐車もあるようだ。)
- ・ 駐車台数の確保は頭の痛い処でもあろうがエリア全体イメージの上で未来の姿を想像しての対応をお願いしたい。
- ・ 市職員の率先した公共交通機関利用の促進、あるいは、ジョグ、自転車による通勤での健康奨励(避難施設用のシャワー等の設置や通常利用)等、自然豊かな街を体感を職員自ら実施。
- ・ 候補地の一つであった新亀山公園の有効利用。テニスコート横の駐車場の拡大整備や無人化→現在の無駄な駐車場管理を見直し、自動発券機化して効率化やイベント対応を図る。市役所利用者には駐車券配布で対応などのサービスとパークロードを挟んでの一体の平面的活用促進。

e 相談機能

- ・ 相談しやすい部屋の整備
- ・ 窓口の仕切りをもう少し後ろまで広げ、プライバシー保護の強化が必要。(斜め後ろから見えてしまう。)
- ・ 相談窓口でのプライバシーへの配慮をしてほしい。
- ・ 大声を出す人がいるので、防音を施した相談コーナーも要るのではないかな。
- ・ 窓口や部署に伺った際に、相談や打ち合わせが気軽にできる空間や部屋の整備
- ・ 相談しやすい雰囲気づくり。
- ・ 民(NPO等)と連携した相談機能

② 市民が集う開かれた庁舎

a 交流機能

(会議室機能等) ・ 市民が気軽に利用できるミーティングルームがあるといい。(できれば、全国大会などの会議での分科会が開けるような会議室) ・ 多目的に使える会議室があるといい。(男女共同参画センター、地域交流センターは定期利用で結構うまくっている。) ・ 市民の意見を吸い上げるために、市民と対話できるようなスペースがあるといい。月に1度はそういう場を設けるなどしてもよいのではないか。意見を吸い上げるような集会場、スペース、懇談の場ができないだろうか。 ・ 定員200名(講演会・セミナー等)、100名(大研修会等)、50名(小研修会・大会議等)、30名(中会議等)、10名(小会議等)等、参加者の人数及び用途に応じた多目的室の整備 ・ 新しい制度などを説明してくれる場所にする。(市報で開催日を知らせる。税金、年金、後見人制度、コンピューターやスマートフォンでできることなどについて。) ・ 市の担当課と連携している市民団体が使える会議室(円卓会議スペース) ・ 中央公民館的な位置づけで、ホールや会議室の整備ができないか。
(休憩・サロン) ・ 屋上に、市内を見通し、語り部などが説明できるような場所を整備してもらいたい。 ・ 市民が溜まれるスペースはとったほうがよい。 ・ 休憩できるベンチを置いたスペース ・ 1階の来庁者へのサービスとして、サロンのようなスペース及びテーブル・椅子があるとよい。 ・ 市中央図書館のようにホワイエを広くとり、自由に昼食ができる空間として、椅子、机などを配置 ・ クールシェア・ウォームシェアスポットとしての利用 ・ フリースペースとして机、椅子があるとよい。 ・ 市役所のロビーで待ち合わせできるような感じにしてほしい。 ・ 高校生などが溜まる場所(勉強をしたり、時間を過ごせる場) ・ できれば、1階に広いスペースを確保して、何にでも使えるようにしてもらいたい。 ・ パークロード側にパブリックスペースを配置。 ・ 市民が気軽に行き来し集える場所とその雰囲気づくり ・ 滞留スペース、交流スペースを広くとって、あえて無駄と思えるような大胆さが必要。 ・ 様々な世代の市民が自然と集まる市民の憩いの場、交流の場
(イベント等に活用) ・ 山口市市民会館も老朽化している。小郡に多目的ホールを整備するので、小ホールが無くなることもあり得るのでは。そうすると300人から500人収容できるようなホール(可動壁で区切って会議室での利用も想定)があるとよい。敬老会などを開催できるように。 ・ 交流スペースを整備するのであれば、姉妹都市のカラーがある交流スペースを整備すれば、関連するセレモニーやイベント時により良い活用ができる。(例えば、スペイン広場のように特化した整備) ・ 教育委員会主催の大内文化研究会講演(参加者50人~60人)も開催できるとよい。 ・ 多機能交流スペースの活用参考例(企画展示) ・ ミニコンサートやイベントの会場としての利用(フリーマーケットなど) ・ 芸術・文化作品展示や交流 ・ 朝市みたいなものがあってもよいのでは。 ・ 各種団体が作品等を発表し、市民や鑑賞者とふれあえる場所。 ・ チャレンジショップのスペースが日替わり、週替わりであってもよい。 ・ 土日開館で市民のイベントスペースとしての利用 ・ パブリックビューイング。

・ ミニコンサート ・ 高齢者の介護予防に関するもの（全市民を対象とする元気いきいき広場、百歳体操等）
（子ども・子育て） ・ 子育て支援スペースの設置 ・ 子どもたちが安心して遊べるスペース
（その他） ・ 近隣に市民会館や亀山公園ふれあい広場などの多目的交流広場があり、商店街との距離も近い。現状ある施設や商店街をもっと利用すべきであり、市民の交流スペースは庁舎以外の場所が望ましいと考える。 ・ 使用料の低料金設定。減免制度の導入。 ・ 1 階のパブリック利用による大路小路空間や車社会の共存を体現できる空間づくりに邁進して頂きたい。 ・ あえて来なくなる市役所、ふれあえる市役所にしてほしい。 ・ 市民に開かれた庁舎（市民と共に山口を元気にしていくランドマークとする） ・ 行政サービスのオフィス機能は当然であるが、市民が憩える空間として利用できるよう民間の事業者や若者の起業を支援する小規模オフィスなどが入れるテナント的なスペースがあると街に活気が出てくるのではないと思う。 ・ 防災拠点の機能、サテライトオフィスとしての機能にも期待したい。 ・ 建築手法として、現在の市営駐車場にある程度ボリュームと事務機能のある建物が必要と思われるが、こちらでは予算をなるべく抑え、その後現市庁舎部分の建替え等が想像できる低層部分等には、山口らしさや「市民が行ってみたくなる市庁舎」への仕掛け等に十分予算配分もお願いしたい。

b 情報発信機能

（市政情報等の発信・イベント告知） ・ イベントの告知などができる情報発信スペースの整備が必要。（市民がイベントの内容を知り、市外から来られた方々に対応できるようになってもらいたい。） ・ チラシの配架（情報を取ることができる）スペースがあるとよい。 ・ 山口市全域の情報（21 地域の情報や市民活動団体の情報）を得ることができるコーナー（モニター可） ・ ゴミ捨てルールの周知コーナー（粗大ごみの持ち込みなど） ・ 21 地域の活動に関する展示室 ・ 時系列でわかる地域行事の総合版やそれを行っている各地域の紹介等が一目瞭然で理解できる総合案内版的紹介コーナー ・ 市民活動 PR ・ 災害対策・ハザードマップなどの啓発 ・ 転入者窓口市民活動団体のパンフレットやニュースレター、ええやん新聞を設置 ・ 特産品の紹介・展示・試食会 ・ 市政に関する展示、イベント（例） 景観写真コンテストの表彰や応募作品の展示、各種アンケートやパブリックコメントの集計結果の展示 ・ 地域おこし協力隊のブースがあってもよい。 ・ 展示スペース（例）市民団体ミニポスター、防災グッズ（避難準備品）、アレルギー用避難食品、地域ごとのフリマや展示、木のおもちゃの展示（それぞれ、市民団体や地域が主体となって年間通じてスケジュールを立てる）
--

(歴史・観光)

- ・ 山口の町は、大内氏により成り立った。大内時代の建築物など、文化遺産も点在している。新庁舎にこれらを大きな地図に載せて展示することも大事である。「大内氏」を探して山口を訪れる人を増やさないといけない。ロビーなどを利用して、そのようなスペースをつくったらどうか。CGなどで表現するのもよいのではないか。
- ・ 観光パンフレットなどは見せ方が大事。混み合うところにパンフレットを置くとうい。
- ・ 入口付近に山口を楽しめるようなイベントマップがあるとうれしい。
- ・ 大内文化の資料が見られる場所
- ・ 「大内氏」の情報掲示コーナーを整備してほしい。モニター映像での掲示とともに、書籍の配架があるとよい。案内人がいるともっとよい。
- ・ 常設コーナーとして、中世の町割りが残る重層的な歴史の情報発信
- ・ 1 階は市民に対しての各種窓口業務が主体になると思われるが、市民に向けても、観光客に向けても山口市の豊富な歴史や自然を伝える仕掛けが、土日でも伝え、憩えるパブリックなスペースや管理体制は欲しい。そこで各施設のイベント開催情報などが一元的に発信できれば、観光客のみならず市民にとっても大変便利になる。特に旧市街地は特に大内時代から作られた街筋などに始まり維新以降、近代まで満載の歴史を楽しく鑑賞できるコーナー等設置して頂きたい。中心地に限らず各地区に散らばる歴史を結び付け、さらには YCAM などの映像技術を駆使した立体で歴史を垣間見られる市民が興味を持てる空間が欲しい。宇部市の常盤公園植物園のチームラボに負けないようなアートと文化財保護課の優秀な学芸員による歴史の融合など 現代ならではの表現コラボが望まれる。
- ・ 山口市の観光 PR
- ・ 山口市には全国で唯一無二である「大内氏」の歴史がある。大内氏の歴史は山口市のアイデンティティを形成する根底をなすものである。もっと山口市民に大内氏に関する知識を持ってもらうため、さらには、市外から大内氏の遺跡を訪訪に来られた方などに、その全貌を紹介できる情報発信コーナーが必要である。
- ・ 市内 2 1 地域には大内氏に関係する史跡等があるので、それらをまとめ、合併した地域をつなぐものとして示すことも大事である。
- ・ 山口市に由縁のある有名人（芸術家等）の作品等を鑑賞できる空間を希望
- ・ 大内氏なり、維新なりを総合的に情報発信する拠点が無い。大内文化資料館施設の有無はさておき、現状では折角来た観光客が大内文化に触れることが出来ずに消化不良のまま帰る感もあり、位置的な問題もあって歴史民俗資料館が有効利用されていないのを痛感する。文化財の管理・整備は文化財保護課が所管し優秀な学芸員も多いのだが、情報発信が市民に向けてでさえ滞っている気がする。ある意味メジャーでない大内氏の積極発信は必要不可欠である。そこで、これら文化財を活かすには、全市的な利活用計画のもとでの総合的な整備が望まれ、文化交流課や観光交流課等全体施策への反映という意味で密接な連携は不可欠でこの際、新庁舎への移転も検討されるべきと考える。現施設をふるさと民俗資料館として残し、新庁舎の多機能交流スペースに活躍の場を移し常設展示や歴史文化に関する企画展示の運営を行うことが市民のためにも、職員の効率的配置の観点からも望ましいのではないか。
- ・ 大内文化や幕末維新における山口の史跡紹介展示 例) サビエル、雪舟、連歌、大内塗、祇園祭

(その他)

- ・ 最新の雑誌コーナー
- ・ 現在も閲覧コーナーがあるが、認知度が低い。待合室も含めスペースを広げ、はっきり分かるように正面玄関の近くに配置。
- ・ 企画コーナー（特産品、自然、祭り、市政紹介、表彰式やセレモニー等のイベント開催）を併せもち、市民・来街者・観光客向けに総合的な情報を発信する場、また、児童のふるさと学習の場としての機能も期待したい。
- ・ レノファ山口のアウェイの試合とか、山口市出身のアスリート応援のパブリックビューイングなども可能なスペース

- ・ 講座・ワークショップスペースとしての利用
- ・ 掲示板（情報発信）
- ・ 今回の市庁舎には、これらの市民に密接する総合的ガイダンス機能充実と共に市職員同士の連携が増幅し、市政に速いテンポで伝えていく事の出来る、効率よい庁舎内配置や配備を期待したいところである。
- ・ 山口市の目指す未来の山口の姿を模型展示

c 便益機能

- ・ パークロードは市の顔、公的な建物は多くあるが、民間の飲食店を出せるエリアがないので、パークロードに面して広場とレストランがあるとよい。
- ・ 軽食レストラン
- ・ オープンカフェを併設する。
- ・ 地産地消の食堂でアピールを。
- ・ カフェがあるといい。
- ・ 軽食をとれる場所があるといい。
- ・ 食堂は、もっと認知できるようにしてほしい。
- ・ 地産地消コーナー & eat in（21 地域の特産物の試食などができる。地域ごとに輪番で出店してもよいのでは。）
- ・ 郵便局、銀行、ATM、コンビニ（売店）、市民も利用できる喫茶（飲食）スペース、県内・市内の特産品販売、コピー機、証明写真撮影機の設置（パスポート用）
- ・ コンビニがあるとよい。
- ・ コンビニがあってもよいのではないか。
- ・ アレルギー対応食品、紙おむつ、使い捨て哺乳瓶などが買えるとうれしい。（待っている間に必要になることが考えられる。）
- ・ リサイクルセンターのアンテナ機能
- ・ フィットネスクラブ
- ・ サイクルステーション

(2) 将来を見据えた柔軟な庁舎

① 将来の変化に対応できる行政サービス機能等の重視

a 執務機能、c 職員の福利厚生機能の確保

- ・ 職員が働きやすい施設にすべき。働く人が効率的に働けないと市民の損失である。
- ・ 行政機関の連携ができるネットワークの構築（一人暮らしで生涯を終えるまでのことが連携できるよう。）
- ・ 職員の十分な執務スペースの確保も大事。（書類に埋もれているようだ。）
- ・ あまり大きい建物でないほうがよい。（人口が減っていくのでコンパクトにすべき。）
- ・ 防災センターは築年数も浅いのもったいない気がする。
- ・ 機能的なことが大事
- ・ I C Tの分野は常に進化しているため、専門家の意見をよく聞いて整備すべき。
- ・ 地域の活動もレベルアップしてきている。それに対応するため、職員の研修もしっかりやってもらうには、会議室もたくさん必要だろう。
- ・ 人口が減ってくるので、規模は小さくしてもいいかもしれない。
- ・ 職員の厚生施設（休憩スペースなど）の確保も考慮すべき。

(3) 安全安心な庁舎

① 新本庁舎の安全性の確保 a 新本庁舎の安全性の確保

- ・ 災害に強い建物を体現してほしい。
- ・ 災害に強い庁舎にしてほしい。
- ・ 不審者対策として、死角がないように配慮してほしい。
- ・ 災害拠点としての機能は大事。本部機能として仮眠室、シャワー室などの完備をする。
- ・ 防災の司令塔としての機能は大事。

② 災害対策機能の強化

b 防災拠点機能

- ・ 防災拠点としての機能（災害発生時の対応拠点）の併設
- ・ 災害に対する備えは必要である。
- ・ 防災対策は必須。（ソーラー発電設備など停電対策をする。）
- ・ 災害発生時の避難場所または医療スペース
- ・ 災害時のボランティアセンターの機能かつ地域福祉推進の機能の導入
- ・ 避難場所（車いす乗用者）の設置。備蓄品保管庫の整備

(4) 亀山を臨む特徴的な立地にふさわしい庁舎

① 景観形成や周辺環境に配慮した庁舎 a 景観配慮

- ・ サビエル記念聖堂と亀山の景観は必ず守ってほしい。(高層ビルにはしない。)
- ・ 計画されている予定地の裏側に、街のシンボリックな存在のサビエル記念聖堂があるので、山口駅から歩いてきた時に、その景観が活かされるようになると良い。見えなくなるような高層建築は避けていただきたい。
- ・ 庁舎のデザインは、サビエル記念聖堂やその周辺に合ったものが必要と考えるが、基本的には庁舎としての機能があれば、極端に言えば四角の建物でも良い。湾曲や流線形などのデザインに凝らずに、庁舎のスペースや設備に無駄が出ないことを望む。
- ・ 亀山公園やサビエル教会などを背景に位置する建物だけに、それを借景としても活用できる、もしくは可能であれば、裏山登山的に亀山公園と繋がる等の仕掛けも面白い。
- ・ パークロード、庁舎、亀山のバランスのとれた景観にすべき。
- ・ 建物の色は、前のサビエル教会の色にしたらどうだろうか。無意識に市民にすり込まれている。目立つ色に。
- ・ サビエル記念聖堂の尖塔の見え方を守ってほしい。
- ・ 現在市役所の機能を保持しながらの工事となると現市営駐車場を撤去して、ある程度、事務機能を充足させる建物工事を先行していくのが妥当と思われるが、背景のサビエル教会、亀山公園を生かせる高さやボリュームには配慮頂きたい。
- ・ 周辺環境への配慮
- ・ 整備に当たっては、駅通りからパークロードの縦軸が基軸となる。郵便局側がメインとなると人の流れが変わるので、基軸は変えないほうがよい。庁舎の顔はパークロード側にする。あまり、西側に寄らないほうがよい。
- ・ 山口駅から県庁に至る道筋の中央に位置する建物ゆえに山口市のシンボルとなるものであってほしい。
- ・ 山口駅から見た景観も大事。
- ・ 一番絵になるようなものを選ぶようにするとよい。見比べてみるのも一つの方法である。
- ・ 亀山で市の眺望をしっかりと見えるようになった。市役所の裏側から新たな遊歩道をつけられないだろうか。
- ・ 裏は亀山、裏からも人が見るので背面の見え方も大事。また、朝のNHKのニュース番組などで市役所方面が移されるとしたら、その方面からの見え方も配慮が必要かも。
- ・ 山口市らしい景観を持つ建物であってほしい。単純に和風などを願っているわけではなく、遠くに山々を望み、自然の多い、盆地の四季や風を感じられる、あるいはその気候に沿った優しい建物を望む。
- ・ 豪華でなくても、スッキリでいい。それだけでもきれいに見える。また、地域らしさを表現し(例えば沖縄の名護市庁舎の様に地域性豊かな)自慢できる建物となりそれを見に来る観光客も出るくらいの心意気が欲しい。
- ・ 現市庁舎の建替えはさらに地域の個性を尊重する景観配慮が望まれるので、上手な予算配分を願う。
- ・ 一の坂川の半世紀足らず前の河川改修が現在の景観を生み出しているのと同様の未来図が描かれる事を期待したい。
- ・ 観光ガイドに載るような市役所もおもしろい。
- ・ きれいに見えるということは大事。
- ・ シンボルタワーとしての整備
- ・ 文教地域としての特性や、パークロード、亀山に隣接している立地などの配慮したデザインにしてほしい。
- ・ 文化都市山口にふさわしい新庁舎
- ・ 県内でも同時期に新庁舎整備が進められているので、山口らしい個性的なデザインにしてほしい。
- ・ 豪華なものでないほうがよい。

② 山口の気候風土を生かした地球環境にやさしい庁舎 a 環境配慮機能

- ・ エネルギー面で太陽光発電等での一部電力供給
- ・ 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）による性能評価の活用
- ・ エネルギーマネジメントシステムの導入
- ・ 再生可能エネルギーの導入（太陽光、バイオマス等）、BEMS の導入、屋上や壁面緑化、地中熱の利用、中水（雨水）利用
- ・ Low-e 複層ガラスの採用、地場産木材の活用等の環境配慮機能
- ・ LED 照明、自然光の導入、人感センサー・照度センサー等によるエネルギーの有効活用
- ・ 【光熱水費の削減】太陽光発電、LED 化、自然消灯、自動水栓、自然換気、自然採光等

その他

- ・ 障がい者の雇用（在宅勤務も可能にする。）
- ・ 先進事例を見て、いいものは取り入れてほしい。
- ・ 基本設計では、説明会など、いろいろと意見を聴いてほしい。皆が共通認識を持てるような形で、意見を聴きながら進めてほしい。地域、市民に見えるように進めてほしい。
- ・ 総合支所・地域交流センター機能を強化しているので、本庁の窓口業務は少なくなるかもしれない。総合支所・地域交流センターの職員を増やす必要もあるのではないかな。
- ・ いろいろと精通している職員を窓口においてほしい。気が利く職員を増やしてほしい。
- ・ 市民の相談、困りごとには親身になる。（権利主張の市民との見極め大事、声の大きなクレームは開けて通さない。）
- ・ 市民団体を通じて横断的行政システムになるといい。 例）不登校問題（教育委員会、子ども未来課、健康増進、障害福祉、NPO）がともに話す機会（円卓会議）を持ち、お互いの役割を知り、ともに課題解決への道筋を考える。
- ・ 業者の搬入口は裏側に配置するなど、別にすべき。
- ・ 大学が吉田に移って若者が中心部からいなくなった。若者が集まるような場所が必要。例えば、県立大学、山口大学の教養部の一部機能でもよいので、周辺機能として、サテライトキャンパスなどを作ってほしい。
- ・ 進出企業の関係者を迎えるための迎賓室があるとよい。できれば、隣に市の歴史などがわかる展示物やジオラマが置いてあり、接待時に説明できるような場所があるとよい。できれば最上階がよい。